

「岡山まちの夢 学生アイデアコンテスト」への参加を通じた地域活性化の活動



コンテストで最優秀賞を受賞

DATA

●主な連携先・メンバー

岡山県／特定非営利活動法人タブラサ／関西大学人間健康学部森仁志ゼミ

●活動地域

岡山県倉敷市等(調査地)／岡山大学(プレゼン大会)

●活動資金

自費参加

活動の目的

- 1 | 岡山県内の商店街の活性化アイデアの提案
- 2 | 同県内の地域に根ざした販賣創出のアイデアの提案

連携にいたる経緯

ソーシャルデザインをテーマに活動する本ゼミに、岡山県出身の学生が在籍していたことをきっかけに同コンテストへ応募。企画書提案のために必須となる現地調査では、岡山県庁職員と連携し、現地の見学や地元関係者からの情報提供等のサポートをいただいた。

活動内容

本ゼミでは、デザイン・シンキングの手法を学ぶなかで、実社会の課題に実践的に取り組んでいる。地域活性化のための企画力を競う「岡山まちの夢学生アイデアコンテスト」の応募にあたっては、ゼミ生たちはまず現地でフィールドワーク(地元の店主や同県を訪れる観光客を対象とした聞き取りや観察等の質的調査)を行い、そこで地域が抱える課題や潜在的なニーズを発見・分析し、解決策を考えてアイデアを提案するというプロセスで大会に参加した。

公募で集まった94件のアイデアから一次審査(書類審査)を通過した10組の入賞者(本ゼミからは二組が入賞)が、岡山大学鹿田キャンパスにおいて公開プレゼンテーションにのぞんだ。当日に公開プレゼンテーションを行った学生は、岡山県知事らとのトークセッションにも参加して自分たちのアイデアを披露した。



コンテストでの学生のプレゼン



フィールドワークの様子

活動の成果

- 1 | 第三回岡山まちの夢学生アイデアコンテストで最優秀賞を受賞
- 2 | 第一回から三回大会を通じて、他にもオーディエンス賞や入賞の評価

今後の課題・目標

- 1 | 地域に根差したより実現性の高いアイデアの提案
- 2 | その具現化のための実践的な活動

●教員紹介



人間健康学部 准教授 森 仁志(もり さとし)

専門は、文化人類学。本学部が理念として掲げる「健康で笑いある、こころ豊かな暮らしの実現」を念頭に、「健康」をより幅広く捉えて「健幸(すこやかでしあわせ)」な社会への貢献を意識した教育活動に取り組んでいる。